

「指導と評価の一体化」のための

学習評価に関する参考資料（中学校 技術）の活用ガイド

本ガイドは国立教育政策研究所の参考資料をもとに、先生方が授業を行うに当たり検討する、指導と評価の計画立案の参考となるよう、神奈川県教育委員会・市町村教育委員会の指導主事の協働で作成したものです。

○掲載項目（事例2）

- 1 題材の目標
- 2 題材の評価規準
 - ① 題材の評価規準
 - ② 学習過程と内容のまとめごとの評価規準
- 3 指導と評価の計画
- 4 「主体的に学習に取り組む態度」の進め方
 - (1) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の考え方
 - (2) 粘り強い取組を行おうとしている側面の評価
 - (3) 自らの学習を調整しようとする側面の評価
 - (4) 技術を工夫し創造しようとする側面の評価

掲載事例以外の題材でも、本ガイドに掲載されたポイントを参考に、日々の学習指導と評価の充実に向けた授業改善に努めましょう！

○活用ガイドのポイント

- ・題材目標や評価規準、学習過程と評価規準との関係性について詳しく解説（1～3）
- ・「主体的に学習に取り組む態度」の考え方について解説（4（1））
- ・「主体的に学習に取り組む態度」の各側面の評価の例をポイントを交えて解説（4（2）～（4））

中学校技術・家庭科(技術分野) 事例を通した評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料P.57～63

技術・家庭科(技術分野) 事例2 キーワード「主体的に学習に取り組む態度」の評価

題材名「環境に優しい野菜づくりにチャレンジ！」

内容のまとめ

内容「B 生物育成の技術」

- (1)生活や社会を支える生物育成の技術
- (2)生物育成の技術による問題の解決
- (3)社会の発展と生物育成の技術

1 題材の目標

生物育成の技術の見方・考え方を働かせ、地域の自然環境へ配慮して野菜を栽培する実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、地域社会の中から生物育成の技術と環境に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい地域社会の構築に向けて、適切かつ誠実に生物育成の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。

※ 下線部は解説「B 生物育成の技術」のねらいと記載が異なる部分



「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

2 ①題材の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生活や社会で利用されている <u>生物育成の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、安全・適切な栽培または飼育、検査等ができる技能を身に付けている。</u>	<u>生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題</u> を見だして課題を設定し、 <u>解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けているとともに、よりよい地域社会の構築を目指して生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用する力を身に付けている。</u>	<u>よりよい地域社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。</u>

※ 下線部は、「評価の観点の趣旨」と「題材の評価規準」の記載が異なる部分
(3編 p.41 「2(3)題材の評価規準の設定」を参照)

地域や学校の実態、生徒の興味・関心や学習経験を踏まえて授業時数や履修学年に対応したものを設定します。

2 ②学習過程と内容のまとめりごとの評価規準

B 生物育成の技術

	(1)生活や社会を支える生物育成の技術	(2)生物育成の技術による問題の解決	(3)社会の発展と生物育成の技術
知識・技能	<p>育成する生物の成長，生態の特性等の原理・法則と，育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。</p> <p>技術に関する科学的な原理法則，基礎的な仕組み，知識に基づいて技能を問題解決の過程に適用できる</p>	<p>安全・適切な栽培又は飼育，検査等ができる技能を身に付けている。</p> <p>技術による問題の解決を考える力</p>	<p>生活や社会，環境との関わりを踏まえて，生物育成の技術の概念を理解している。</p> <p>技術の概念</p>
思考・判断・表現	<p>生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。</p> <p>技術の工夫を読み取る力，見方・考え方に気づく力</p>	<p>問題を見いだして課題を設定し，育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに，栽培又は飼育の過程や結果の評価，改善及び修正について考えている。</p> <p>技術による問題の解決を考える力</p>	<p>生物育成の技術を評価し，適切な選択と管理・運用の在り方や，新たな発想に基づく改良と応用について考えている。</p> <p>技術を評価し，選択...する力</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>主体的に生物育成の技術について考え，理解しようとしている。</p> <p>粘り強さの側面</p>	<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりしようとしている。</p> <p>粘り強さ、自己調整の側面</p>	<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>技術を工夫し創造する側面</p>

3 指導と評価の計画(第1学年 15時間)①

B(1) 生活や社会を支える生物育成の技術

【主体的に学習に取り組む態度】

(1)の活動では、
粘り強い取組を行おうとしている側面
 の評価を実施します。

「基礎的な技術の仕組みを調べ、問題を解決するためにどのような工夫がされているかを調べる学習」などを通して、進んで技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしているかを見取ります。

時間 指導 事項	・学習活動 ※□は取り上げる学習内容例を示す。	○：評価規準の例 と ◇：評価方法の例		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2 B(1) ア	・生活や社会を支える生物育成の技術の例や、問題解決の工夫について調べる。	①作物、動物及び水産生物の成長、生態などについての科学的な原理・法則を説明できる。 ②生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。 ◇ワークシート		
3 B(1) イ	<工夫調べの例> ・家庭菜園で用いられている伝統的な技術や、産業で用いられる生産技術の仕組みを調べ共通点をまとめる。 ・社会で利用されている生物育成の技術が、目的や条件に合わせて、生産者や開発者が計画等に込めた意図を読み取る。		③生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことに気付くことができる。 ◇工夫調べレポート	④進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ◇工夫調べレポート

3 指導と評価の計画(第1学年 15時間)②

B(2)生物育成の技術による問題の解決

【主体的に学習に取り組む態度】

(2)の活動では、
自らの学習を調整しようとする側面の評価を実施します。

自分なりの解決策を構想し、問題解決の過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしているか、また、安全・適切に作業ができるように指導します。

4 5 B(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会において生物育成の技術を用いて解決したい問題を見つけ、課題を設定する。 ・設定した課題に基づき、育成環境の調節方法を構想して、育成計画を具体化する。 	<p><問題を見いだす発問の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい栽培技術で、社会の問題を解決しよう。 <p><生徒が設定する課題の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス栽培の環境負荷を小さくしたい。 ・消費者が安価で安心して食べられる栽培方法を工夫したい。 	<p>◇工夫調べレポート</p> <p>⑤生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定できる。</p> <p>◇育成計画表</p> <p>⑥課題の解決策を条件を踏まえて構想し、育成計画表等に表すことができる。</p> <p>◇育成計画表</p> <p>⑦育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。</p> <p>◇生徒の行動観察</p> <p>◇育成環境の調節や作物管理の状況</p>	<p>⑩自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。</p> <p>⑪自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。</p> <p>※育成計画表、管理記録カード、収穫レポート等と組み合わせ評価する。</p>
6 7 8 9 10 11 12 B(2) ア イ	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・適切に栽培・検査し、必要に応じて適切に対応する。 ・設定した課題の解決状況を評価するため、作物の生育状況と、LEDを点灯させた時間や消費した養液の量、成長の度合いなどのデータを記録する。 	<p>⑦育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。</p> <p>◇生徒の行動観察</p> <p>◇育成環境の調節や作物管理の状況</p>	<p>⑧育成計画に基づき、記録したデータと作物の生育状況とを比べながら、合理的な解決作業を決定できる。</p> <p>◇管理記録カード</p> <p>◇育成環境の調節や作物管理の状況</p>	
13 B(2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫の様子(品質や収穫量など)と、解決過程で収集したデータとを整理して、収穫レポートにまとめながら、問題解決の過程と結果を振り返る。 		<p>⑨自らの問題解決の工夫を、生物育成の技術の見方・考え方に照らして整理するとともに、課題の解決結果を記録したデータに基づいて評価する。</p> <p>◇収穫レポート</p>	

3 指導と評価の計画(第1学年 15時間)③

B(3) 社会の発展と生物育成の技術

【主体的に学習に取り組む態度】

(3)の活動では、
技術を工夫し創造しようとする側面
 の評価を実施します。

ここまでの学習を踏まえ、技術の優れた点や問題点を踏まえ、技術の在り方について考えようとしているかを見取ります。

	⑭	⑮	⑯	⑰
14 B(3) ア	<ul style="list-style-type: none"> ここまでの学習活動を踏まえ、技術の概念を理解する。 研究開発が進められている新しい生物育成の技術の優れた点や問題点を話し合う。 	⑭ これまでの学習を踏まえ、生物育成の技術の役割や影響、最適化について説明できる。 ◇ワークシート	⑮ よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用の在り方について提言をまとめることができる。 ◇ワークシート	⑰ よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成の技術を進んで工夫し創造しようとしている。 ◇ワークシート
15 B(3) イ	<ul style="list-style-type: none"> よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成の技術の在り方や将来展望について提言する。 			

4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

(1) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の考え方

安心、安全で便利な生活の実現や持続可能な社会の構築のために、主体的に技術に関わり、技術を適切かつ誠実に工夫し創造しようとする実践的な態度が育成された状況について評価する。

知識及び技能の獲得

思考力、判断力、表現力等を身に付ける

粘り強い取組を行おうとしている側面

自らの学習を調整しようとする側面

技術を工夫し創造しようとする側面

題材の指導の中で、場面に応じて、どの側面を重視して評価するかを検討します。

4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

(2) 粘り強い取組を行おうとしている側面の評価

指導事項 B(1)ア、イ

「工夫調べレポート」

生物育成の技術 工夫調べレポート	
1年 組 番 氏名 ()	
1. あなたが調べたい「生物育成の技術」を1つ選びましょう。 (家庭菜園で用いられる伝統的な技術、ウシやブタ等を育てる畜産の技術など)	
2. 教科書や新聞記事などから、1.で選んだ「生物育成の技術」の仕組みや工夫を調べましょう。 (どのような目的で、どの生物を、どのような方法で、どのように工夫して育てているか)	
調べた技術 ・小さな面積でも大量に生産できる植物工場	参考にした図書、新聞記事など ・教科書〇〇ページ ・△△新聞 令和〇年〇月〇日号
この技術の目的や役割(どのような問題を解決しているか)	育成している生物の種類
育成の仕組み	この技術に込められた工夫や思い、考えなど
3. 生活や社会で用いられている生物育成の技術の仕組みや、その役割について調べてみて、あなたが興味や関心をもったこと、さらにやってみたくと思ったことを書きましょう。	
<ul style="list-style-type: none"> ■十分満足できる状況(A)と判断した記述例:「今までは生物育成の技術が食糧生産だけだと思っていたが、それ以外にも多く利用されていることを知った。今後は自分も、食糧以外の目的で栽培や飼育に挑戦してみたい。」 ■おおむね満足できる状況(B)と判断した記述例:「今回のレポートで、生物育成の技術にはコンピュータが使われていることに驚いたし、他にどんな技術があるのか調べてみたいと思った。」 ■努力を要する状況(C)と判断した生徒への手立て: 今後も粘り強く学習に取り組もうとする様子がうかがえないため、他の生徒のレポート等を読みながら、自分の実習に生かせようなどを見つけてさせ、実習への意欲を高める。 	

生活や社会で用いられている技術がどのような問題を解決しようとして、どのように工夫されているかを調べる。

【思考・判断・表現の評価】

レポートにまとめた感想等の記述から意欲を読み取る。

【主体的に学習に取り組む態度の評価】

4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

(2) 粘り強い取組を行おうとしている側面の評価

指導事項 B(1)ア、イ

3. 生活や社会で用いられている生物育成の技術の仕組みや、その役割について調べてみて、あなたが興味や関心をもったこと、さらにやってみたいと思ったことを書きましょう。

- 十分満足できる状況(A)と判断した記述例:「今までは生物育成の技術が食糧生産だけだと思っていたが、それ以外にも多く利用されていることを知った。今後は自分も、食糧以外の目的で栽培や飼育に挑戦してみたい。」
- おおむね満足できる状況(B)と判断した記述例:「今回のレポートで、生物育成の技術にはコンピュータが使われていることに驚いたし、他にどんな技術があるのか調べてみたいと思った。」
- 努力を要する状況(C)と判断した生徒への手立て: 今後も粘り強く学習に取り組もうとする様子がうかがえないため、他の生徒のレポート等を読みながら、自分の実習に生かせそうなことを見つけさせ、実習への意欲を高める。

■十分満足できる状況(A)と判断した記述例
 「今までは生物育成の技術が食糧生産だけだと思っていたが、それ以外にも多く利用されていることを知った。今後は自分も食糧以外の目的で栽培や飼育に挑戦してみたい。」

記述から「～したい」を読み取ります。
 例:「調べたい」「やってみたい」「挑戦してみたい」など

- (B)の記述例では、「・・・調べてみたい」という記述がみられます。
- (A)の記述例ではさらに、自分の生活や体験と関連付けて「今までは・・・だったが・・・」など意欲の変容がみられます。

【ポイント】
 技術を学ぼうとする意欲や関心があるか

4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

(3) 自らの学習を調整しようとする側面の評価

指導事項 B(2)ア、イ

評価規準を

「自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている」 P.58「3 指導と評価の計画」⑩

「自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている」 P.58「3 指導と評価の計画」⑪

として設定



問題解決の過程	評価する態度
課題・設計(育成計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい発想を取り入れようとしている(知的財産) ・育成計画を調整しようとしている
育成(管理作業)・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の過程を振り返って原因を追究しようとしている ・作物の状況を観察し、育成計画等と比較しながら最適な作業手順を考えようとしている

4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

(3) 自らの学習を調整しようとする側面の評価

指導事項 B(2)ア、イ

管理記録カード

1年 組 番 氏名 ()

1. 実習前に、あなたの目標などを考えよう

あなたが解決したい課題（目標）

- ・植物工場を、より省エネルギーで安価に大量生産できるように改善したい
- (目標)なるべく電気や化石燃料を使わずに、露地栽培と同じ品質で育てる

育成しながら調べておきたいデータ

- ・ヒータでハウス内を温めた時間と電気代
- ・LED照明を使った時間と電気代

個人課題の設定

2. 管理記録をつけよう

※注目した条件（温度、湿度、日照、風通し、衛生、肥料、水分、苗の状態など）も記録しよう。

月日	作物の様子	注目した条件と管理作業	あなたが考えたこと、思ったこと	調べたデータの記録

記録の番種（ポートフォリオ）

3. 実習を振り返りましょう

a. あなたは課題を解決するために、どのような条件に注目して、どのように工夫しましたか

b. 調べたデータから、課題をどの程度解決できたか、自己評価してみました

ポートフォリオを活用した振り返り

c. あなたが課題の解決を目指して、育成の結果がよりよいものになるよう、改善・修正しようと思って取り組んだことを思い出してみましょう

■十分満足できる状況(A)と判断した記述例:「なるべく電気を使わずに育てよう」と日光が当たりやすい場所に移動させて、LED照明を使う時間を短くしようと思いました。また、それだけでは成長が思わしくないので、資料で調べて、養液の成分を変更してみました。」

■おおむね満足できる状況(B)と判断した記述例:「なるべく電気を使わずに育てよう」と考えていましたが、始めは曇りの日が多くてLED照明を長く点灯させていました。しかし、途中で目標を達成できないかもしれないと考えて、日光が当たりやすい場所に移動させて、LED照明を使う時間を短くしようと頑張りました。」

■努力を要する状況(C)と判断した生徒に対する手立て:自分が書いた管理記録カードを見直ししながら、自分があきらめずに取り組んだことや工夫したことを見つけさせ、実習への意欲を高める。

「管理記録カード」

4～12時間目において毎時間記録します。

※記録内容

- ・管理作業の内容
- ・問題解決を評価するために必要なデータ
- ・どのような気持ちで問題の解決に取り組んだか

4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

(3) 自らの学習を調整しようとする側面の評価

指導事項 B(2)ア、イ

管理記録カード

1年 組 番 氏名 ()

1. 実習前に、あなたの目標などを考えよう

あなたが解決したい課題（目標）

- ・植物工場を、より省エネルギーで安価に大量生産できるように改善したい
- (目標)なるべく電気や化石燃料を使わずに、露地栽培と同じ品質で育てる

育成しながら調べておきたいデータ

- ・ヒータでハウス内を温めた時間と電気代
- ・LED照明を使った時間と電気代

個人課題の設定

2. 管理記録をつけよう

※注目した条件（温度、湿度、日照、風通し、衛生、肥料、水分、苗の状態など）も記録しよう。

月日	作物の様子	注目した条件と管理作業	あなたが考えたこと、思ったこと	調べたデータの記録

記録の番種（ポートフォリオ）

3. 実習を振り返りましょう

a. あなたは課題を解決するために、どのような条件に注目して、どのように工夫しましたか

b. 調べたデータから、課題をどの程度解決できたか、自己評価してみました

ポートフォリオを活用した振り返り

c. あなたが課題の解決を目指して、育成の結果がよりよいものになるよう、改善・修正しようとして取り組んだことを思い出してみましょう

- 十分満足できる状況(A)と判断した記述例:「なるべく電気を使わずに育てよう」と日光が当たりやすい場所に移動させて、LED照明を使う時間を短くしようとしました。また、それだけでは成長が思わしくないので、資料で調べて、養液の成分を変更してみました。」
- おおむね満足できる状況(B)と判断した記述例:「なるべく電気を使わずに育てようと考えていましたが、始めは曇りの日が多くてLED照明を長く点灯させていました。しかし、途中で目標を達成できないかもしれないと考えて、日光が当たりやすい場所に移動させて、LED照明を使う時間を短くしようと頑張りました。」
- 努力を要する状況(C)と判断した生徒に対する手立て:自分が書いた管理記録カードを見直ししながら、自分があきらめずに取り組んだことや工夫したことを見つけさせ、実習への意欲を高める。

「管理記録カード」

13時間目にこれまでの学びの振り返り

技能の習得状況の変化を確認する

全体を通して感じたことをまとめる

【主体的に学習に取り組む態度の評価】

○記述から計画と実際を比較してどのように改善・修正しようとしたのか読み取ります。

4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

(3) 自らの学習を調整しようとする側面の評価

指導事項 B(2)ア、イ

■ 十分満足できる状況(A)と判断した記述例:

「なるべく電気を使わずに育てようと日光が当たりやすい場所に移動させて、LED 照明を使う時間を短くしようとしました。また、**それだけでは成長が思わしくない**ので、資料で調べて、**養液の成分を変更してみました。**」

■ おおむね満足できる状況(B)と判断した記述例:

「なるべく電気を使わずに育てようと考えていましたが、始めは曇りの日が多くて LED 照明を長く点灯させていました。しかし、途中で目標を達成できないかもしれないと考えて、日光が当たりやすい場所に移動させて、LED 照明を使う時間を短くしようと頑張りました。」

■ 努力を要する状況(C)と判断した生徒に対する手立て:

自分が書いた管理記録カードを見直しながら、自分があきらめずに取り組んだことや工夫したことを見つけさせ、実習への意欲を高める。

「なるべく電気を使わずに育てる」という目標に対してどのように取り組んだか(改善・修正しようとしたか)を読み取ります。

○(B)の記述例では、日光が当たる場所に移動させて電気を使う時間を短くしようと取り組みました。

○(A)の記述例ではさらに、成長が思わしくないという状況を分析し、養液の成分を変更しています。

【ポイント】

複数の視点から課題を解決しようとしているか

4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

(4) 技術を工夫し創造しようとする側面の評価

指導事項 B(3)ア、イ

4. 上の1～3を踏まえて、私たちの地域にとってよりよい植物工場のアイデアを考えてみよう。また、そのアイデアに込めたあなたの思いを書きましょう。

a. アイディア

「思考・判断・表現」の評価

b. あなたが込めた思い

「技術を工夫し創造しようとする態度」の評価

■十分満足できる状況(A)と判断した記述例：「育て方が似ている地域の特産品をまとめて育てるようにすれば、電気エネルギーを効率よく利用できるし、たくさんの技術を使うよりも、いくつかの技術に絞って活用したほうが効果的だと思ったからです。他の技術も色々調べながらよりよい方法を考えてみたいと思います。」

■おおむね満足できる状況(B)と判断した記述例：「電気を使うことばかりを考えずに、自然の光や風などを利用したほうが、安定して作物を育てられると思ったからです。」

■努力を要する状況(C)と判断した生徒への手立て：学習した知識や、問題解決の経験が生かされていないことから、生徒自身の問題解決の過程を振り返らせながら、次の問題解決の場面で心がけたいことを意識させる。

植物工場のアイデア

【思考・判断・表現の評価】

生物育成の技術を適切に評価し、選択、管理・運用等の仕方について提言させます。

アイデアに込めた思い

【主体的に学習に取り組む態度の評価】

これまでの学習を振り返り、アイデアに対してそう考えた理由を記載させます。

4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

(4) 技術を工夫し創造しようとする側面の評価

指導事項 B(3)ア、イ

指導事項(1)(2)の学習活動を通して

- 技術の優れた点や問題点を見極めようとする態度
- 技術を積極的に用いて生活や社会の問題を解決していこうとする態度
- より高い品質で、効率よく、安定して、経済的にも優れ、自然環境に優しく、消費者にとって安心などの視点をできるだけ満たすように工夫し創造しようとする態度



技術を工夫し創造しようとする態度を涵養することを目指している

4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

(4) 技術を工夫し創造しようとする側面の評価

指導事項 B(3)ア、イ

■ 十分満足できる状況(A)と判断した記述例:

「育て方が似ている地域の特産品をまとめて育てるようにすれば、電気エネルギーを効率よく利用できるし、たくさんの技術を使うよりも、いくつかの技術に絞って活用したほうが効果的だと思ったからです。他の技術も色々と調べながらよりよい方法を考えてみたいと思います。」

■ おおむね満足できる状況(B)と判断した記述例:

「電気を使うことばかり考えずに、自然の光や風などを利用したほうが、安定して作物を育てられると思ったからです。」

履修学年に合わせた判断規準を考えていく必要があります。

※この事例は第1学年を対象にしています。

アイディアと思いを組み合わせることで、個人的な願いの実現を目指すだけでなく、環境への負荷などにも配慮してよりよい地域社会を構築しようとしているか読み取ります。

- (A)の記述例では、効率的な利用や最適な解決策を見出そうとして技術を積極的に用いようとしています。
- (B)の記述では、環境への負荷は考えていますが、技術の優れた面や問題点を見極め、積極的に活用しようという記載が見られません。

【ポイント】

技術を工夫し創造しようとしているか